

浜学園	6年							
	算数							
学習内容	No.36 整理と推理							
家庭学習ポイント	マスタ教材はNo.36で終了します。No36では度数分布表を使った整理の問題、規則を見つける問題、証言を整理する問題（着順の推理や「うそつき」を見抜く問題など）、対戦表の問題、当選確実票数の問題なども扱います。No.37からはまとめに入っていきますが、まとめとして行われる5回は苦手単元を克服する最後のチャンスですので、苦手単元や自分の入試レベルに応じて必要な問題を復習しておきましょう。日特やオプション講座など様々な講座を通じて入試に向けた問題演習を進める時期ですが、クラスによっては自分の志望校に必要な問題が出てくることもあるでしょう。そういう問題にはあまり時間をかけず、自分の志望校に必要な問題に絞って練習を繰り返しましょう。この時期になったらすでに自分の志望校がある程度固まっており、過去問も何回かやっているかと思いますので、おおまかな判断はできると思います。判断に迷うものがあれば、お通いの塾の先生に相談してみましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	度数分布表から平均を計算できますか？						チェック
	解決策	それぞれの度数の中央値をつかって計算するとよいですね						□
	チェック2	当選確実票数の問題を正しく解けていますか？						チェック
	解決策	「1人選ばれる→2人で争って負けなければよい」と「+1人」で考えましょう						□
	チェック3	現実的な受験校が出揃い、受験プランが確定しましたか？						チェック
	解決策	問題との「相性」もないとは言えません。過去問の出来なども参照しつつ最終決定局面です						□
	チェック4	「演習⇒解説」からの気づきが得点力アップにつながっていますか？						チェック
	解決策	通常授業の問題で気づいた課題から「次の得点」につなげる学びを続けていきましょう						□
	チェック5	自分が得点すべき、武器となる分野がはっきりしていますか？						チェック
	解決策	そろそろ弱点補強の時期から、得意を伸ばす時期に変わっていきます						□
浜学園	6年							
	国語							
学習内容	随筆文 文学作品・作文 総合							
家庭学習ポイント	単元学習が終わるといよいよ総まとめの「総合」に入っていきます。物語文・随筆文・説明文といった今まで学習してきた読解の単元の総合問題となります。「合格達成への道」では語句総合演習が続きます。これが最後の単元となりますので、間違えたところはチェックを入れながら完璧に仕上げたいですね。入試本番まで残り1カ月ほどになってきました。集中的に過去問に取り組まれているかと思いますが、今ひとつ得点が伸びないとお悩みのお子さんは、まずは確実に点数が狙える知識問題をチェックしましょう。「知識の達人」や「電車の友」は完璧にしておきたいですね。また不得意な問題に集中的に取り組むことも重要ですが、お子さんの自信を育てる為にも、得意な問題をさらに磨いていく学習も必要です。志望校の傾向を分析する際には、単元や文章の傾向だけでなく、設問の傾向まで分析しましょう。たとえば記述問題の多い志望校を目指していて、記述に不安を抱えている場合は、まず本文中から探し出した箇所を繋げて、文末を整えることで解答ができ上がる設問なのか、自分の言葉で説明する設問なのか、出題傾向を分析するのです（多くの学校は前者タイプです）。その上で、書く力（抜き出した文章をつなげて、文末を整える技術）が不足しているのか、設問からの抽出箇所に問題があるのか、最後の追い込み時期だからこそあらためてチェックしてみてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	過去問の演習は順調に進んでいますか？						チェック
	解決策	当日までに消化しきれそうか、計画の見直しは随時入れていきましょう						□
	チェック2	志望校の出題傾向がわかってきましたか？						チェック
	解決策	受験校を具体的に決める中で、その傾向についても過去問で確認していきましょう						□
	チェック3	記述問題の答え方が「我流」で困っていませんか？						チェック
	解決策	「本文のどこに注目して記述を組み立てるか」が正しいかチェックしてみましょう						□
	チェック4	問題を解いたあとの直し、周辺学習の手順が決まっていますか？						チェック
	解決策	「解きっぱなし」にならないよう、意識的に手順を守るようにしましょう						□
	チェック5	語彙ををコツコツと増やす努力を続けていますか？						チェック
	解決策	知識をつける勉強は入試当日まで、と心得てコツコツ取り組みましょう						□

浜学園	6年							
	理科							
学習内容	No36 電気I（豆電球・発熱） No37 電気II（電流と磁気） No38 植物I（根・茎・葉）							
家庭学習 ポイント	12月は、電気I（豆電球・発熱）、電気II（電流と磁気）、植物I（根・茎・葉）について学習します。各単元、総まとめの学習になりますので、要点のまとめをしっかりと熟読し、理解し、暗記できたと自分なりの納得感をもってから、問題を解いていきましょう。電気については、入試直前であるからこそ（特に苦手意識や不安を持っているお子さんは）「電流＝管（導線）の中を流れる電気の流れ」「電圧＝電流を押し流そうとするポンプの役割」「電気抵抗（電熱線）＝電流が流れにくい部分」というイメージを持っているかを確認することが大切です。このイメージがしっかりついていれば「電圧が2倍になる⇒電気抵抗が一定なら流れる電流が2倍になる」「電気抵抗が2倍になる⇒電圧が一定なら電流が半分になる」ということ（つまりオームの法則）が理屈で理解でき、使いこなせます。くれぐれも「丸暗記」で入試を乗り切ろうとしないことです。「電流と磁界」でも、導線の上、下に置いた方位磁針の振れの大きさは流れる電流の大きさによって決まるため、回路に流れる電流の大きさを正しく考えられることが重要です。植物に関しては双子葉植物と単子葉植物の根・茎・葉のちがい、双子葉植物・単子葉植物と有胚乳種子・無胚乳種子の関連などを確認しておきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	電流・電圧・電気抵抗の関係について正しく説明できますか？						チェック
	解決策	電圧・電気抵抗が2倍になったら電流の大きさがどうなるか、説明してみましょう						□
	チェック2	電熱線（豆電球）の直列、並列と電気抵抗の大きさについて言葉で説明できますか？						チェック
	解決策	「直列＝電熱線が長い＝電気抵抗が大きい・並列＝電熱線が太い＝電気抵抗が小さい」イメージです						□
	チェック3	導線付近に置いた方位磁針の振れを正しく判別できますか？						チェック
	解決策	必ず右手を使って確認するようにしましょう						□
	チェック4	双子葉植物・単子葉植物と有胚乳種子・無胚乳種子の関係を説明できますか？						チェック
	解決策	ほぼ双子葉＝無胚乳種子・単子葉＝有胚乳種子、例外であるカキ・オシロイバナを押さえましょう						□
	チェック5	過去問演習は予定通り進んでいますか？						チェック
	解決策	特に受験計画の変更があった場合は、過去問計画も柔軟に変更しましょう						□
浜学園	6年							
	社会							
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□